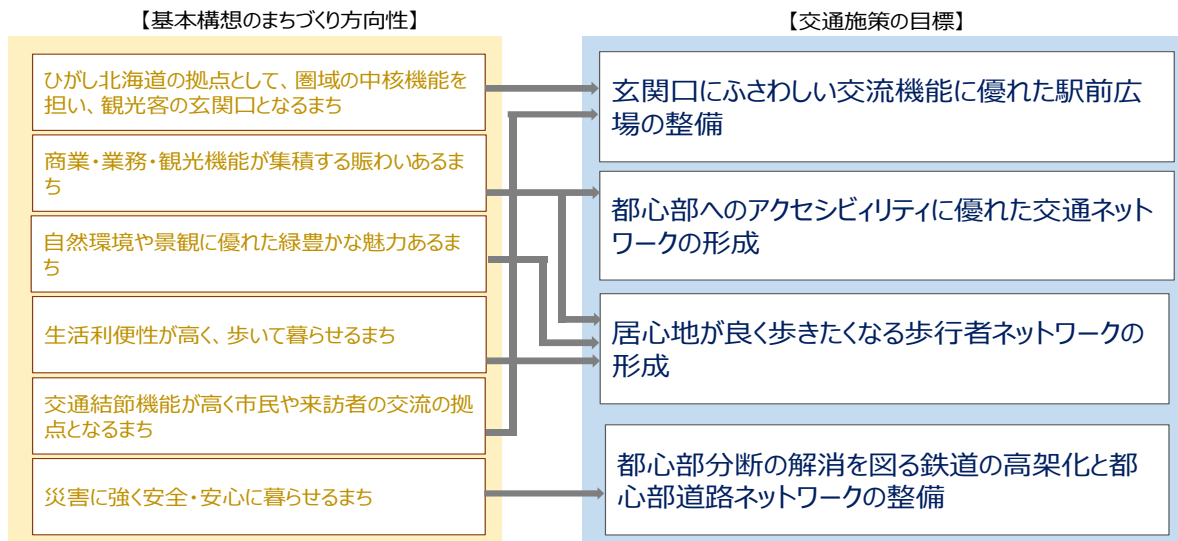


# 都心部地区交通戦略 【概要版】

都心部地区交通戦略は、釧路駅周辺を中心とする都心部を対象に、「釧路都心部まちづくり計画」と連携して人と公共交通中心の賑わいのある空間を創出するための交通施策を検討するものです。

## 都心部地区交通戦略の基本理念と3つの地区交通戦略

### 自動車と緩やかに共存し、人と公共交通を中心とした賑わいの空間への Re・Innovation



#### 【交通施策の基本方針】

- 釧路駅周辺や北大通などの公共空間を、車中心から人と公共交通中心の空間に再編
- 街路空間を公共交通と歩行者優先とするため、都心部環状道路などの新たな道路ネットワークを形成し、通過交通を抑制
- 公共交通の使いやすさを高めることで、自動車を使わなくても移動に困らない交通体系を実現
- 鉄道高架下の交差道路新設によるアクセスの向上を図るとともに、北大通などで沿道アクセスしやすい交通環境を構築し、賑わいを創出

**戦略1** 街路空間のウォークアブル化

**戦略2** 公共交通の利用促進

**戦略3** ゲートウェイとしての釧路駅周辺整備

## 都心部地区交通戦略の進め方

**鉄道高架の前に進める 短中期**

社会実験などにより新たな街路空間を体験し、利活用に関するルールづくりなどを進めることで、長期の方策である施設整備のあり方に反映させます。

**鉄道高架と合わせて進める 長期**

鉄道高架に合わせて駅前広場や街路整備を進めます。

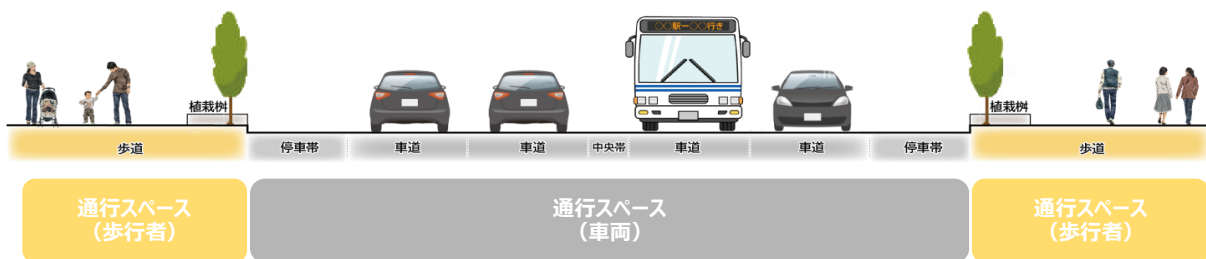
# 戦略 1. 街路空間のウォーカブル化

## 方策 1. 街路空間の再構築

長期

- 北大通、共栄新橋大通、駅前南浜町通は駅前広場と一体となって居心地が良く歩きたくなる空間を創出するため、ウォーカブル道路とすることを目指します。
- 街路空間の再構築により、歩行者が快適に移動できる通行スペース、沿道の商店街などが自由に利用できるスペース、一般車などが気軽に沿道にアクセスしやすいスペースを配置し、その利活用について、官民が連携して検討します。

### 現況（4車線・幅員30m）



### 再構築（2車線・幅員30m）



図.街路空間の再構築の基本的な考え方（北大通（道道区間）を事例として）

フリースペースのイメージ  
（オープンカフェ）



出典：松山市ホームページ

フリースペースのイメージ  
（パークレットによる憩いの空間）



出典：関西道路研究会道路環境問題研究会  
第6回技術講演 神戸市

沿道アクセススペースのイメージ  
（停車帯の確保）



出典：地域づくりを支える道路空間再編の手引き（案）  
（国総研,2018.2）

## 方策 2. 官民連携の社会実験による街路空間の利活用

短中期

- 街路空間の利活用の社会実験
- 簡易停車帯やタクシーベイ設置の社会実験
- 簡易的なバス待ち環境整備の社会実験

- ・ 居心地が良く歩きたくなる街路空間の形成に向けては、商店街、住民などの多くの関係者との合意形成が必要となります。新たな街路空間の使い方や価値を実践、体感することで、取り組みの効果や課題を確認し、まちづくり機運を醸成する社会実験を実施します。

## 方策 3. 沿道アクセススペースの利活用と路外駐車場出入口のあり方の検討

短中期

- 沿道アクセススペースの利活用に関するルールづくり
- 路外駐車場出入口のあり方の検討

- ・ 沿道アクセススペースの利活用のルールについては、既存の民間の時間極め駐車場などとの共存を念頭に、都心部の賑わい創出に資する停車時間などの運用を検討します。
- ・ 北大通などの街路空間の再構築を検討する道路は、安全安心なウォークアブル空間を創出するため、道路に面する建物を対象に、路外駐車場の集約や路外駐車場の出入口を新たに設置することを制限することなどについて検討します。



出典：まちづくりと連携した駐車場施策  
ガイドライン基本編（平成30年7月 国交通都市局）

## 方策 4. ウォークアブル空間の利活用

短中期

- 歩行者利便増進道路の利活用に関するルールづくり
- 除雪体制の充実

- ・ 歩道上の自由に利活用できるスペースは、国土交通省の「歩行者利便増進道路」を活用し、オープンカフェやベンチなどの占用物件の設置など、商店街などの創意工夫を活用した空間づくりを検討します。
- ・ 冬季の除雪体制の充実により、歩行空間と歩行者利便増進空間の確保を図ります。

歩行者利便性増進道路のイメージ



出典：国土交通省ホームページ

## 戦略 2. 公共交通の利用促進

「釧路市地域公共交通網形成計画」（平成 29 年度策定）、「釧路市地域公共交通再編実施計画」（令和元年度策定）と整合を図り、釧路市、商店街、バス事業者などが連携して、公共交通の利便性を向上させ、公共交通における都心部の拠点性を高めることを目指します。

### 方策 1. 鉄道高架によるバス路線網の再編

長期

- ・ 現況において鉄道の南北を結ぶ路線バスは、旭跨線橋や北中跨線橋を運行していますが、鉄道高架に伴うバス専用道路の整備により、最短経路で鉄道の南北が結ばれる経路が整備されることから、バス路線網の再編を検討します。

### 方策 2. ハイグレードなバス待合環境の整備

長期

- ・ バスの利用促進を図るとともに、都心部の滞在ミニ拠点としてのハイグレードなバス待合環境の整備を検討します。
- ・ バス待合環境に加え、歩行者の回遊性を高めるため、歩行者案内標識などの機能の導入を検討します。

整備後（イメージ）



出典：EMシードコー株式会社ホームページ

### 方策 3. バス発着場所の増加の社会実験

短中期

- ・ 空港連絡バスは多くの観光客などが利用しており、釧路駅前やフィッシャマンズワーフ MOO などに発着場所があることで、都心部のアクセス機能を担っています。その機能を高めるため、例えば多くの観光客が訪れる和商市場前に発着場所を設置することで、観光客の利便性を向上させる社会実験を実施します。

### 方策 4. バス事業者と商店街の連携の社会実験

短中期

- ・ バス利用者がお得に商店街を利用できるよう、商店街とバス事業者が連携して、バスを利用することで商店街で利用することができるクーポンなどを配布する社会実験を実施します。

### 方策 5. 日本版 MaaS の推進に向けた基盤づくりの検討

短中期

- ・ 将来的な日本版 MaaS の推進に向け、IC カード、QR コードによる運賃のキャッシュレス決済の導入を検討します。

### 方策 6. 新たな地域公共交通の導入可能性の検討

短中期

- ・ 都心部は、一般的な徒歩圏よりもやや広いエリアとなっています。だれもが移動しやすい交通環境を目指し、環境にやさしく歩行者目線に近い速度で運行するグリーンスローモビリティ、無人 EV バスなどの導入可能性を検討します。

### 戦略3. ゲートウェイとしての釧路駅周辺整備

鉄道高架に合わせて、新たな都心部道路ネットワークを整備するとともに、既存の公共空間や鉄道高架などにより生まれる新たな土地を活用して、新たな拠点機能と一体となったオープンスペースや交通結節機能の整備を進めます。

#### 方策1. 新たな都心部道路ネットワークの整備

長期

- 『都心部環状道路』及び『都心部放射道路』は、国道などの幹線道路で構成し、跨線橋の平面化などにより、広域交通や通過交通の円滑化を図り、都心部への通過交通の流入を抑制します。
- 『都心部南北（東西）道路』は、新たに高架下道路を2路線整備し、鉄道南北の一体化、都心部へのアクセスを向上します。
- 鉄道南北の一体性を高めるため、北大通と共栄新橋大通を結ぶ自由通路を整備し、歩行者と自転車の動線を創出します。



図. 新たな都心部道路ネットワークの形成

#### 方策2. 賑わいを創出する新たな拠点機能と一体となったオープンスペースの整備

長期

- 釧路駅周辺に賑わいを創出する新たな拠点機能となったオープンスペースを整備することで、市民や来訪者が憩い楽しめる空間を創出します。

#### 方策3. 鉄道高架下バスターミナルとバス専用道路の整備

長期

- 鉄道高架下バスターミナルとバス専用道路の整備により、バス相互の乗継利便性や待合環境の向上を図ります。

#### 方策4. タクシープール、一般車駐車場などの整備

長期

- 釧路駅周辺にタクシープールや一般車駐車場を整備することで、都心部へのアクセスを向上させ、交通結節機能の導入を進めます。

▼賑わいを創出する新たな拠点機能と一体となったオープンスペースのイメージ  
(宮城県日向日向市駅)



出典：平成26年度都市景観大賞（国土交通省）

▼バス専用道路のイメージ  
(兵庫県姫路市姫路駅)



出典：姫路市

▼高架下のタクシープールの整備イメージ  
(東京都世田谷区経堂駅)

